

センサースイッチ

実は沢山の機能が備わっている優れたものなのです。

皆さんは、センサースイッチを取り入れた回路設計をどの程度まで踏み込んで係わってますか？
電気工事店に「この場所はセンサー付けといて」なんてことはしないでしようか？
今回はセンサースイッチ機能のひとつを紹介します。

人感センサー。日本ではパナソニックがほぼ独占状態。最近では、照明専門メーカーが自社の商品と組み合わせで独自のセンサースイッチも販売するようになりました。メーカーによつては結線方法も工夫され簡単に施工できるものもあります。機能も充実しゆっくり点灯したりタイマー機能が付いたり選定するにも労力が必要になります。

そこで、空間が上質に変わるセンサー機能のひとつ、「フェードイン」に着目します。玄関、廊下等共用部のセンサースイッチは光の移ろいをゆっくり変化することで空間に「品」を持たせます。



灯りコラム Vol.7

フェードアウト

フェードイン

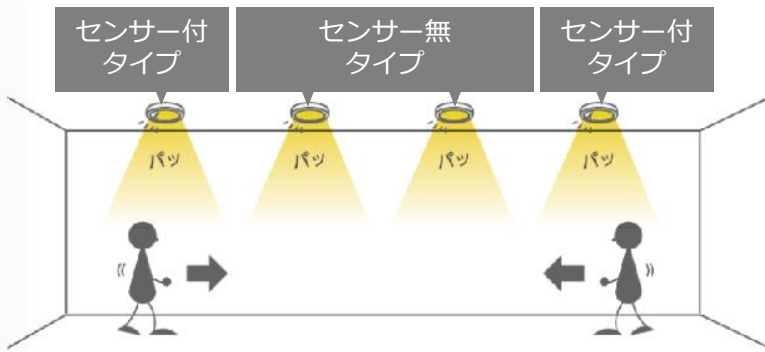
強制ON

連動型

マルチモード

タイマーモード

センサーで自動点滅すれば目的は果たせませんが、これからは一歩踏み込んで、上質な空間演出を作る上でのアイテムのひとつとして「フェードイン機能」を捉えて見ては如何でしょうか。



フェードインとは、ゆっくりと「ワア」と照明が点灯する機能。パツ、パツと点灯するよりも、フワァッ、フワァッと点灯していく方が良いような気がしませんか？
フェードインの時間は3秒くらいが気持ち良い時間と言われますが、パナソニックは即点灯します。が、バリエーションは沢山あります。

他方、オーデリックのセンサーは、1秒、大興電機2秒、コイズミは5秒でフェードインします。ゆっくり点灯は気持ちの良いものです。別にどうでも良いような機能と思われがちですが、柔らかな光の動きには上質な空間を印象付けます。ソフトスタートという名称で表記するメーカーもあります。

センサー機能に少しだけ拘り、素晴らしい提案をしてみても如何でしょうか？

詳細照明設計は、株式会社灯り計画

照明計画を切り口に暮らしの提案の幅を広げてみませんか？
インテリアを引き立てる照明術。豊かな暮らしには、照明の効果や演出が必須アイテム。
こだわりの場所やちょっと自慢の場所のインテリアに灯りのスパイスを効かせた提案をしてみたいかががでしょう。

照明計画のご相談をお待ちしております。